

図書館へ行こう！

あけましておめでとう
ございます



『お正月』

今年もあわくら子ども図書館をどうぞよろしくお願いします。みなさんは、どのようなお正月を迎えておられますか？一年の始まりの行事「お正月」。今月は『お正月』をテーマに、行事の由来、お正月が出てくるお話、おもちつきのお話などを集めてみました。今年も家族みなさんでぜひ図書館をご利用ください。



『10ひきのかえるのおしょうがつ』
↑気持ちよく冬眠していた10ひきは、ねずみのもちつきの音で目をさします。そこで、お正月はおもしろいと知った10ひき。早速自分たちも大そうじから始めます…。



→七福神てなあに？お正月という行事のことや、七福神のことがわかりやすく書いてあります。子供と一緒に勉強になりますよ。そして今年は、あせち料理を食べながらみんなで楽しく話せると楽しい絵『七ふくじんとおしょうがつ』本です。



『おもちのきもち』
←「おもちのきもち」なんて、考えたことがあります？おもちの気持ちをのぞいてみよう。人気作家さんの、とーってもユニークなお正月にぴったりのお話です。

一般書

今月の新着本

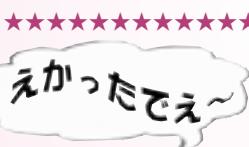
児童書

『チッチと子』 次に「くる」といわれ続けて10年の万年初版
石田衣良／著 作家・青田耕平は小学生の息子と二人暮らし。

将来への不安は募るばかりだが、ついに直木賞の候補に選ばれる。周囲の変化に戸惑う耕平。だが一方で、3年前に不可思議な交通事故で死んだ妻を忘れることができない。「あれはほんとうに事故だったのだろうか」。寂しさから逃れられない父と子がたどり着いた妻の死の真相とは。変わりゆく親子の変わらない愛情を描く、感涙の家族小説。家族の愛情が孤独な魂を包み込む渾身の感動大作。

『ファミリーツリー』 小川 糸／著

家族という木のてっぺんには、いったい何があるのだろう。美しく壮大な自然に囲まれた長野県安曇野。少年は「いとこおば」にあたる同じ年の少女に恋をした…。命のきらめきを描き出す、渾身の一作。新しい小川糸がここに。



あなたのおすすめの1冊!!を紹介します。ペンネームでもOK

『神去なあなあ日常』 三浦しをん著

タイトルの「なあなあ」は、「ゆっくり行こう」とか「まあ落ち着け」と言う意味で、どうも作者の造語らしいのだが、西粟倉よりももっと田舎の神去村にはぴったりです。主人公は、三重県の山奥にある神去村に、高校卒業と一緒に放り込まれ、杉と檜の区別も付かないまま、チェーンソー片手に山仕事をすることに。先輩の鉄拳、ダニやヒルの襲来、大変なことばかりだけど、逃げ出したいという気持ちはいつしか薄れ、林業っておもしれ～！と思えるようになってしまいます。携帯は通じなくても、情報はあっという間に駆け巡り、でもそんな煩わしさがいつしか快さに繋がっていく。何だか西粟倉で薄れていったモノが見えるような気がしました。

自然の中で、自然を相手に生業をするのはきびしいこと。でも、だからこそ人ととの繋がりが大切で濃密なものになっていくのではないかでしょうか？西粟倉でも、そんな居心地の良さができるのかと思ってしまう一冊でした！



『だいくのたこ8さん』

内田麟太郎／文・田中六大／絵

こんな大工さんがいたらしいな!!おもしろおしごと絵本。どこにでもありますで、どこにもない不思議な町で、大活躍の大工のたこ8さんのお話。どんな仕事もまかせときなって！自慢の大工の腕で、おかしな住人のお悩み解決。次々とおもしろハウスを建てていきます。こんな大工さんがいたら楽しいな！子どもたちの職業の夢を広げる、おもしろおしごと絵本。



『であえてほんとうによかった』

宮西達也／作・絵

どんなに乱暴者で、きらわれもののティラノサウルスも、心の奥底には優しさを持っています。ひとりぼっちで生きてきたティラノサウルスが、出会ったちいさな恐竜によってその心をとりもどしていく、心あたたまる愛情物語です。

☆今月のベストセラー☆

- | | |
|----------------|---------|
| 1位『SOSの猿』 | 伊坂幸太郎／著 |
| 2位『めぐらやなぎと眠る女』 | 村上春樹／著 |
| 3位『新参者』 | 東野圭吾／著 |
| 4位『神様のカルテ』 | 夏川草介／著 |
| 5位『小太郎の左腕』 | 和田 竜／著 |

開館時間 10:00~17:00

休館日 祝祭日

今月は…1月1日~3日(年始)と1月11日

☆問い合わせ先☆

教育委員会内図書係 TEL 79-2216

こども図書館 TEL 79-2116